

ライブエンタテインメントビジネスのリスクファイナンス

○大塚寛樹（フィールアイ株式会社）

八木良太（尚美学園大学）

1. はじめに

ライブエンタテインメントビジネスほど高度なリスク環境にさらされているビジネスはない。このビジネスは、成否が人の嗜好という非科学的な要素に大きく左右されるため、ギャンブル性が強く、ビジネスリスクが高い。そして、事故や災害などの予測不能な突発的リスクが発生する脅威を常に抱えている。ライブエンタテインメントビジネスはリスクの塊のようなビジネスなのである。そこで、本報告では、ライブエンタテインメントのリスクを特定するとともに、コンサートプロモーターをはじめとするライブ関連企業のリスク対応をリスクファイナンスの観点から考察する。

2. ライブエンタテインメントのリスク特定

2-1. リスクの定義

リスクは、純粹リスクと投機的リスクの二つに分けられる(亀井, 2012)。純粹リスクとは、時間や当事者の意思に関係なく、偶発的に発生する自然災害や事故に関するリスクのことで、損失のみが発生する。このリスクは、損失を限定できないが、保険化可能である。他方、投機的リスクは、企業活動や経営環境に関するビジネスリスクのことで、意思決定者の判断によって損失または利益のいずれかが発生する。このリスクは、意思決定者の戦略的判断により損失を限定できるが、保険化は困難である。

2-2. ライブエンタテインメントのリスク

ライブエンタテインメントの純粹リスクと投機的リスクは、以下のように特定できる。

＜ライブエンタテインメントの純粹リスク＞

- ①自然災害による興行中止
- ②出演アーティスト、スタッフの怪我
- ③入場者・観客の怪我
- ④楽器・機材、会場設備・備品のトラブル（破損・紛失等）
- ⑤現金の盗難

＜ライブエンタテインメントの投機的リスク＞

- ①アーティストの選定（ブッキング）
- ②会場の選定（騒音、夜間営業など周辺地域との問題）
- ③日程の選定（競合イベントとの関係）
- ④チケット販売の価格設定
- ⑤マーケティング（チケットプロモーション）

3. ライブエンタテインメントのリスク対応

3-1. リスク対応の種類

リスクマネジメント論におけるリスクの対処法には、損失を事前に防止・軽減する技術的操作のリスクコントロールと、損失発生後に資金的操作・補償を行うリスクファイナンスがあり、それらはさらに「回避」と「除去」、「転嫁」と「保有」に分けられる(亀井・亀井, 2009) (表)。

表：リスクコントロールとリスクファイナンス

リスクコントロール 技術的操作	
回避	リスクの遮断、行動の中止、撤退
除去	リスクの防止（予防・軽減）、分散、結合
リスクファイナンス 資金的操作・補償	
転嫁	保険・共済・基金
保有	自家保険、キャプティブ

3-2. ライヴエンタテインメントのリスク対応

ライブエンタテインメントの純粹リスクへの対処法として、最も一般的なのがリスクファイナンスの転嫁である。特に、リスクを保険に転嫁する対処法が効果的である。他方、投機的リスクにはリスクコントロールの除去を用いる。取引業者との間の契約によってリスクを分散、または、企業間でのパートナーシップを結ぶことによってリスクを結合するなどして投機的リスクを除去する。

4. ライヴエンタテインメントビジネスのリスクファイナンス

4-1. コンサートイベント保険の概要

コンサートイベントの純粹リスクへの対処法であるリスクファイナンスにおいては、主に5つの保険が活用されている。

- (1) 興行中止保険
- (2) 賠償責任保険（現金の盗難保険、入場者または観客の怪我等の保険）
- (3) 動産保険（楽器、音響、照明、美術品機材破損）
- (4) 傷害保険（出演者、スタッフ等の怪我）
- (5) その他（ACPC “一般社団法人コンサートプロモーターズ協会” による保険）

4-2. エイベックスライブクリエイティヴ（エイベックス社のライブ部門）における保険の適用事例

公演名：倅田來未 Koda Kumi Live Tour 2011 ～Dejavu～（2011年度・全51公演）

加入保険：興行中止保険、賠償責任保険、傷害保険

発生したリスク：東日本大震災（地震・津波）

地震・津波災害は興行中止保険の対象外であるため、公演の延期・中止に伴う補償（保険金の支払い）は受けられなかった。なお、13公演は、やむなく公演を中止せざるをえない具体的事由（①避難所使用による会場の利用不可、②公演実施に必要な電力供給が受けられない、③楽器・機材運搬時の燃料が確保できない）に該当することにより、それらの興行中止保険は中止となり、保険料の払い戻しが行われた。興行中止保険は、ライブエンタテインメントの最も一般的な保険であるが、万能ではない。地震・津波が多発する日本では、今後、興行中止保険に加えて、「地震中止プラン」（地震または津波により公演を中止せざるを得ない場合の保険）の加入を検討する必要がある。これまで日本の保険会社は地震中止プランを取り扱っていなかったが、東日本大震災以降は取り扱うようになり、選択肢が増えた。

5. おわりに

ライブエンタテインメントのリスクファイナンスでは、どの保険をどのように選択するのか、つまり、戦略的な保険選択が必要であり、ライブエンタテインメントのリスクとリスクファイナンス（保険）を理解した意思決定者の存在が重要となる。保険選択における意思決定者の留意点は以下の6つである。

- (1) 季節（台風、豪雪、ゲリラ豪雨等の自然災害時期、インフルエンザ等の伝染性疾患の流行時期）
- (2) 出演者（公演の直前または期間中における急病・怪我）
- (3) 会場（屋内または屋外、スタジアム等の特別施設、開閉式屋根の有無、避雷針設置の有無）
- (4) 公演期間・回数（公演の規模）
- (5) リスクを伴う業務への関与（フリーランスのような個人が危険な業務に携わるか否か）
- (6) 高価または特殊な楽器・機材・備品などの利用の有無